



すごいぞ！柏プロジェクト！

2021年11月15日 第6号

手づくり虫よけスプレーづくり！

子どもたちの育てるかぶは、収穫間近です。しかし、無農薬で育てていることもあり、葉っぱの多くが虫に食われていました。そこで、タブレットで虫よけ対策について調べ学習をすると、食べられる食材のみを使って作る虫よけスプレーがあることがわかりました。また、農業の指導をいただいている近藤さんにも、とうがらしとにんにくでできる虫よけスプレーの作り方を教わりました。そこで子どもたちは、身近な食材を使って、実際に手作り虫よけスプレーを作ることになりました。

虫よけスプレーに使ったおもな食材は以下の通りです。（クラスによってやや材料が異なります。）

＜3年生 手作り虫よけスプレーの材料＞

- ①しょうが ②とうがらし ③一味 ④コーヒー殻 ⑤酢 ⑥豆乳 ⑦料理酒
⑧にんにく ⑨にら ⑩ししとう ⑪茶殻 ⑫牛乳（給食の残り）⑬タバスコ など

近藤さんの農業指導を受けたあと、子どもたちの中には、コーヒー殻や茶殻など、家から食材を持ってくる子もいました。ご協力ありがとうございました。また、学校では、毎日給食の牛乳の残りが出ていることを知り、栄養士の河島先生に前日の給食の牛乳の残りをいくつか分けてもらいました。

集めた材料を持ち寄り、家庭科室で虫よけスプレー作りを行いました。それぞれの食材を細かく切って、すりつぶし、1つの鍋にぐつぐつと煮込みます。にんにくやしょうが、にらなどをすりつぶしているため、家庭科室はものすごい匂いに包まれました。子どもたちは、これだけ匂いがきつかったら、「絶対に虫も逃げる！」と言いながら、楽しく調理していました。最後に、煮たてた汁をざるでこして、上澄み液のみをスプレーに入れて完成です。



できたスプレーをかぶの葉にかけました。畑にとってもきつい匂いが広がりました。飛び立つ虫の様子も観察し、鼻をおさえながら子どもたちは夢中になってかけていました。何日か経つと、そのスプレーの効果か、葉は一時よりも元気に青々としていました。いよいよ収穫です。

